



災害時に発生する 災害ごみの対策について



質問者
唐澤 一代 議員

東日本大震災では、推計約3千100万トン、阪神大震災では、約1千500万トン、昨年夏の西日本豪雨では約190万トンもの災害ごみが発生し、災害ごみの発生量は数百万トンに上るとみ

られ、リサイクルや埋め立てによる処理終了までに2年以上かかるということが環境省の調べでわかってる。

(1) 松田町においても、災害ごみについて対策を考えているか。

(2) 再資源化出来るものもあるのか、普段から町民レベルでやれる事を、啓発していいか。



県・町・団体等が 更に団結・協力・ 対応へ

回答 (町長)

(1) 記憶に新しい10月12日に発生した台風19号では、土佐原地区で土砂崩れが発生し、住家半壊等の被害を受けた場所から、約5トンの災害廃棄物が発生。災害廃棄物は一般廃棄物であることから、町が主体となって行う。

平成26年より災害における一般廃棄物の収集に関する協力協定を、広域一般廃棄物事業協同組合と締結。当該団体、町、県と連携し対応していく。

(2) 平成28年よりクールチョイス宣言を行い、CO2削減を推進している。災害廃棄物の再資源化においても、町民の皆さんにご理解頂くと共に、平時から生活一般廃棄物の分別やリサイクル、便乗ゴミの禁止など、環境意識の向上について様々なイベントを通し、引き続き啓発活動を行っていく。

..... 一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。.....



自治功労者表彰式 町村議会議員研修会

令和元年11月21日(木)、山北町生涯学習センターで神奈川県町村議会議長会主催の自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会が開催されました。

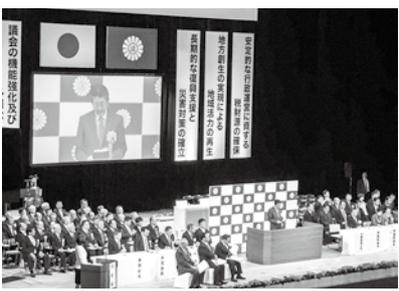
表彰式は、県内町村議会議員5名が表彰(11年以上議員として地方自治の発展に功績のあった者)されました。

研修会は、講師の清水寺貫主森清範氏による「清水の舞台から」の講演を傾聴しました。

第63回町村議会議長会 全国大会

令和元年11月13日(水)、NHKホールで全国町村議会議長会主催の第63回町村議会議長会が開催され、今年は創立70周年にあたり記念式典も開催されました。

全国の町村議長が出席し、安倍内閣総理大臣をはじめ各大臣、国会議員を来賓として迎え、締めくくりには、地方創生の実現をめざして、各種の要望、決議を行い、出席者全員によるガンパローコールを行いました。



議会運営委員会 委員研修会

令和元年11月6日(水)、中井町役場で足柄上郡町村議会議長会主催の議会運営委員会研修会が開催されました。

講師の危機管理教育研究所の鍵屋一氏により「災害時の議会对応・議員の役割」をテーマに、台風19号や東日本大震災の事例に、内閣府防災関連委員や東京都板橋区職員時代の見識を加えながら応急対策期から災害後の議会对応等研修を行いました。